

4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、平成25年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を項目ごとにまとめた。

(1) 語彙力（【1】発音問題 正答率 66.6% 【2】語彙問題 正答率 41.2%）

ア -ow- をつづりに含む単語（grow, know など）の発音はよく区別できているが、-ea- を含む単語（heavy, great など）や、-ear で終わる単語（wear, hear など）の発音の区別ができていない。また、-gh で終わる単語の発音も理解できていない。

イ 文脈や対話の内容に応じて適切な語彙（wrong, miss, against など）を用いて表現することができない。また、単語の発音とつづりが結び付いていないため、状況に応じた単語（holiday, daughter など）を思いついたとしても、つづりを正しく書くことができない。

(2) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率 67.0% 【4】文法・表現問題 正答率 40.3%）

ア 手段を尋ねる疑問詞 How や、許可を求める助動詞 may の用法は理解できている。一方、接続詞 because と so の使い分けや、前置詞 until の用法の理解は十分ではない。

イ 動名詞・接続詞・現在完了などの文法事項や、make + O + C などの文構造の知識を活用して、同じ内容を多様に表現することは十分できていない。特に、主語や時制に応じて動詞を適切な形で用いることができない。

(3) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率 73.5%）

基本的な会話表現は理解しているが、会話の中で相づちを打ったり、感想を述べたりする場面において、適切な表現を用いることができない。

(4) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率 55.2%）

間接疑問や現在分詞の後置修飾を含む文を、与えられた語を用いて作ることができない。また、基本的な動詞や副詞とともに現在完了や最上級を用いた文を適切に作ることができない。

(5) 読解力（【7】長文読解問題 正答率 52.7%）

物語の場面や状況を考えながら，登場人物の行動や心情を理解し，書き手の意図を読み取ることが十分できていない。

(6) 聞き取りの力（【8】聞き取り問題 正答率 75.1%）

部屋の家具などの置き場所についての会話を題材とした。会話の場所や登場人物の所有物等の状況把握はよくできているが，登場人物の考えなどを整理して理解することは十分できていない。